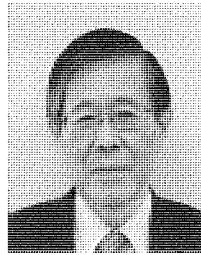


# What's Rotary



## RIの向かっている道(三つの側面を通して)

RI第2630地区パストガバナー  
桑月 心 (高山RC)

ロータリーは1905年に誕生して、1910年に思想の骨格ができあがります。1915年には道徳律で倫理を導入、1923年に決議23-34、1935年メキシコ大会で「ロータリーの綱領」(現在はロータリーの目的と呼んでいる)を採択します。RIも第二次大戦前はしっかりしたロータリー哲学の道を歩んでいました。

ここまでは綱領を拠りどころとした職場倫理高揚のロータリーでありましたが、1947年にポール・ハリスの死によって転機がおとずれます。ポール・ハリスの死を悼む世界中のロータリアンから多額の寄付金がよせられ、財団活動(金銭奉仕)が中心になり、ポリオ撲滅運動も財団の不動のテーマとなりました。「拡大が目的のロータリー」はアメリカンスタンダードのロータリーと密接に関係します。財団への寄付を増やすため会員を増やすことが必要で、Man get Moneyです。組織を巨大化させその維持に大きな経費を必要としている現在の国際ロータリーの考え方と一致します。

綱領(ロータリーの目的)に忠実に活動を展開すべきと考える多くのクラブがあります。それに対し、なんとかRIの行く方向と折り合いをつけようとする動きがあります。(最近の「友」誌職業奉仕に関する記事を参照)現在の日本ロータリーを先進国ロータリー(人口減少国)における危機と認識できます。ところがRIは軸足を発展途上国(人口爆発的増加国)にしています。はたしてこの危機を乗り越えることができるかを皆さんとともに考えてみたいと思います。

### ロータリー3つの側面

#### (1)目的(綱領)のロータリー

ロータリーとは奉仕の理想に集う同志(Fellow)の会

1. 奉仕の理想とは?
2. ロータリーが理想として挙げる奉仕の在り方
3. 「正直者が馬鹿を見る」のではなく、「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」経済社会のあり方=理想社会を創ろうということ
4. 職業倫理の確立へ
5. そのためには自分一人が高い志をもって社会の大勢にはかなわない  
同じ高い志を持つ者が各業界でリーダーシップを有する者がたくさん集まろう
6. 職業奉仕がロータリー活動の中心→  
I Serveの世界

#### (2)ボランティアのロータリー

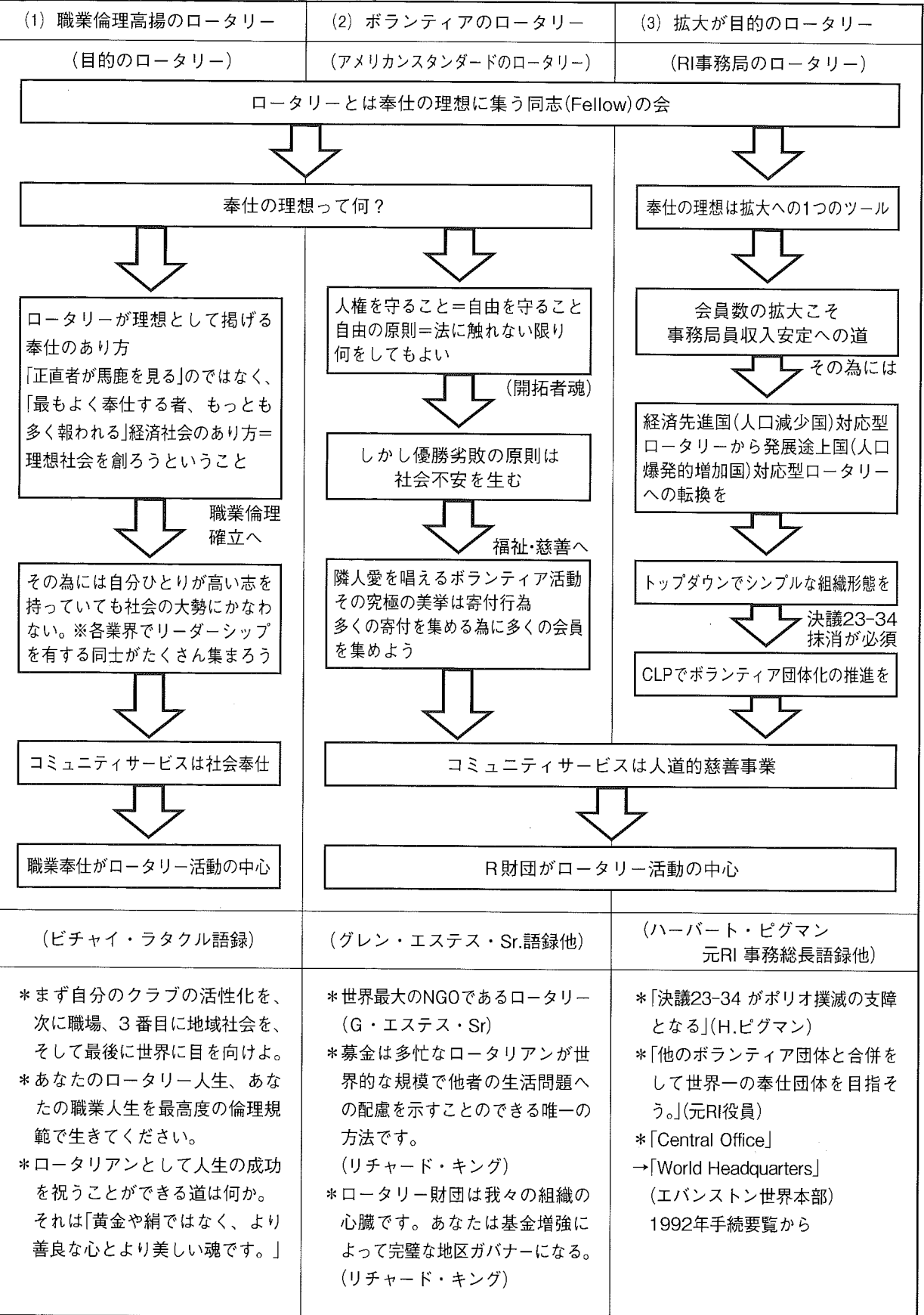
1. 奉仕の理想とは
2. 人権を守ること=自由を守ること  
自由の原則=法に触れない限り何をしてもよい  
フロンティアスピリット(開拓者魂)

3. 優勝劣敗の原則は社会不安を生む
4. 勝利者は福祉・慈善に向かう
5. ボランティア活動は究極的なあり方は寄付行為
6. 多くの寄付金を集めるため多くの会員を集めよう
7. Man Get Money
8. 社会奉仕(コミュニティサービスは人道的慈善事業)
9. 財団がロータリー活動の中心

#### (3)ロータリーの目的が拡大

1. 奉仕の理想は拡大への一つの道具(Tool)
2. 会員数の拡大こそRI事務局員収入安定への道
3. 経済先進国(人口減少国)対応から発展途上国対応への転換
4. トップダウンでシンプルな組織形態へと決議23-24の抹消が必須
5. CLPでボランティア団体化を推進
6. 財団がロータリー活動の中心

### ロータリー3つの側面



What's Rotaryコーナーへのみなさまのご投稿をお待ちしております。